

世界的な社会的責任投資指標「Dow Jones Sustainability Index」の構成銘柄に初選定

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は、世界的な社会的責任投資指標である Dow Jones Sustainability Indices（ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、以下 DJSI）のアジア・太平洋地域版「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に初めて選定されました。LIXIL グループは、建設関連製品部門において、アジア太平洋地域で最高スコア、世界でみても3位という高い評価を獲得しました。

LIXIL グループは、サステナビリティ（持続可能性）を重視し、その要素を事業戦略に組み込むとともに、組織や地域の枠を超えたグローバルでの推進体制を強化してきました。こうした継続的な取り組みが今回の DJSI 構成銘柄への選定につながっています。加えて、特に労働慣行、人的資源開発、リスクマネジメントおよび危機管理といった社会、経済面の取り組みに関して、従来よりも高い得点を獲得することができ、相対的な評価も向上しています。

MEMBER OF

**Dow Jones
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM 

DJSI は、社会的責任投資に関する代表的な指標であり、同分野を専門とする調査・格付け機関である RobecoSAM 社が、年1回、世界の主要企業の持続可能性を評価し、構成銘柄の選定が行われています。今年度は世界の主要上場企業 2,000 社超を対象に、経済、環境、社会面の取り組みについて調査・分析が行われ、「DJSI Asia Pacific Index」には、計 152 社が選ばれました。

株式会社 LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「この度、DJSI の構成銘柄に選定されたことを嬉しく思います。LIXIL グループは、事業の持続可能性を高める上で、環境・社会への配慮や、コーポレートガバナンスの強化を重視しており、こうした側面について、投資家、ビジネスパートナー、従業員を含むあらゆるステークホルダーからの注目も高まっています。当社では、コーポレート・レスポンシビリティ戦略として、『グローバルな衛生課題の解決』、『水の保全と環境保護』、『多様性の尊重』という3つの柱を設定し、取り組みを進めています。企業の社会的責任として、安全で快適性を高めた製品・サービスの提供や、環境や社会に配慮した持続可能なイノベーションを追求することで、世界中の人々のより豊かな生活の実現に貢献することを目指しています」

なお、LIXIL グループは 2017 年 7 月に、DJSI と並ぶ社会的責任投資の代表指数である「FTSE4Good Global Index」および性別多様性の分野で優れた取り組みを行う日本企業を対象とした「MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄にも選定されました。

■ LIXIL、LIXILグループについて

LIXILについて

株式会社LIXILは、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、American Standard、GROHE、DXV、INAX、Permasteelisaをはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界150カ国以上で事業を展開し、70,000人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXILグループについて

株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社LIXILをはじめ、株式会社LIXILビバ、株式会社LIXIL住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017年3月期の連結売上高は1兆7,864億円※です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース